

データベースに対するセキュリティ対策

セキュリティ対策の種類（分類）

種類（分類）	内 容
抑 止	脅威が発生すること自体を防ぐ
予 防	脆弱性を減らす
防 御	攻撃者から守る、および被害を軽減する
検 知	兆候および、被害を発見する
対 応	発生した被害の回復と事後対応の実施

セキュリティ対策一覧

対 策	分 類	概要と実対策
暗号化	防御	保存しているデータ、通信においてデータの機密性と完全性を確保する <ul style="list-style-type: none"> ・ Oracle Advance Security ・ 暗号化ツールキット
認 証	防御	データにアクセスするユーザーを識別して認証することで、不正なアクセスを防ぎます <ul style="list-style-type: none"> ・ OS による認証 ・ ネットワークによる認証 ・ Oracle データベースによる認証
認 可	防御	ユーザーの権限を制御して、適切な範囲でのデータアクセスを行います <ul style="list-style-type: none"> ・ Oracle ユーザー ・ OS ユーザー ・ Virtual Private Database
監 査	抑止 検知	重要なデータのアクセス記録を調査します この実施により、不正者に対し威嚇できます <ul style="list-style-type: none"> ・ 文監査 ・ 権限監査 ・ スキーマオブジェクト監査 ・ ファイングレイン監査
環境	予防	不要ユーザーの削除、デフォルトパスワードの変更、リスナーのポート番号変更により、脆弱性を排除します <ul style="list-style-type: none"> ・ リスナーのポート番号 ・ SYS、SYSTEM ユーザーのパスワード変更
バックアップ	対応	データに損傷があった時に、復旧します
パッチ適用	予防	システムの脆弱性を無くします
配 置	予防 防御	サーバーの物理的な配置、データを置くサーバーを決定して、不正な行為が出来ないようにします